

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 阿久根由美子
日 時	平成25年7月30日(火曜日)		開 議 午前 11 時 00 分 閉 議 午後 0 時 04 分
出席委員	石野 立花 井上 福井 中澤 堤		
執行機関出席者	< 政策推進室 > 桂担当室長 < 政策推進課 > 竹村課長、柏尾担当課長、大石主幹		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	議員 - 名( )

## 会 議 の 概 要

11:00

### 1 開議

〔石野委員長 開議〕

〔事務局 日程説明〕

### 2 議題

アンケート調査について

〔政策推進室 入室〕

11:04

〔政策推進室担当室長あいさつ〕

< 政策推進課担当課長 >

地域公共交通調査を行うため5月16日に地域公共交通協議会で国費交付申請を行い、5月30日に交付決定を受けた。600～700万円を申請したが200万円の交付決定となった。

業務委託を行うことにし(株)オリエンタルコンサルタンツと6月25日に5,565,000円で契約した。

以降業者と打ち合わせ作ったたたき台を本日説明する。〔説 明〕

8月9日に地域公共交通協議会で説明し意見を聴取する。9月に調査実施予定。

11:28

〔質 疑〕

< 井上委員 >

無作為抽出は良い方法だと思う。男女比はどう考えているのか。

利用者調査の聞取りは乗車中に行うのか。

過去の調査で分かるなら高齢者、障害者の利用状況は。

調査項目が多い。調査協力は得られるのか心配する。

< 政策推進課担当課長 >

ランダムな抽出なのでほぼ今の亀岡市の男女比になると思う。

バスの降り口で運転手から配付することも考えたが運転手の負担になるので、調査員が行うことにし、バス停で待つ人からも聞取りたいと考えている。具体的にはまだ決めていない。

前回調査の回収率は約 40%、調査結果は改めて報告する。  
調査協力の呼びかけを十分にしていきたい。

< 井上委員 >

前回の方法は。

< 政策推進課担当課長 >

ふるさとバス運行地域で無作為抽出。

< 福井委員 >

調査票はバスを前提にしている。どうかと思う。

調査票が分かりにくい、委託業者と協議し作成したのか。調査協力してもらいたい高齢者から回答が得られるか。

< 政策推進課担当課長 >

J R などではなく今回はバス限定である。

委託業者と協議し調査項目を選定してきた。高齢者に比重をおいた調査も考えたが、実際の年齢比率から高齢者の意見は多く集まると思う。

< 福井委員 >

記入例は添えるのか。

< 政策推進課担当課長 >

別葉で記入例を付けることは考えていない。

< 中澤委員 >

予算より内示額が減少していたが調査に影響はないのか。

周辺地域から交通が不便だと聞く。今回の調査で特に意見を聞くべきだと思うが、調査対象はこれでよいと考えているのか。調査内容が市街地も周辺地域も同じでよいのか、周辺地域に特化するようなものなど亀岡市独自の調査項目があってもよいのではないか。

< 政策推進課担当課長 >

調査個数を増やすと影響が出る。

全体的な統計ができるような項目にしている。老人会や障害者団体等のヒアリングも考えたい。

< 中澤委員 >

聞き取り調査の内容は。

< 政策推進課担当課長 >

具体的でない。自由記述を多くしたいと考えている。

< 立花副委員長 >

篠町には京阪運行路線しかないことやデマンド交通などの現在の課題が調査回答では得られないのではないか。

調査票が分かりにくい、カラーにするのか。

< 政策推進課担当課長 >

アンケートについて(株)京阪京都交通とも協議をしているところである。デマンド交通は市民にとって必要なら市の施策として対応すべきと考えている。アンケート調査でデマンド交通はどうかと聞いても回答しづらいのではないかと思う。委託業者と協議し分かりやすくしたい。

< 立花副委員長 >

山間部でデマンド交通の必要な地域がある。やる気があるのかが重要な問題。検討するべきとの姿勢でアンケート調査を考えているのか。

< 政策推進課担当課長 >

今は市の見解を整理できていない段階である。バス運行の基本は定時定路線だと思う。コストも考えたうえで効果的であるのならデマンド交通も選択肢の一つだと思う。

< 堤委員 >

利用者一人当たりのコストを公表し、利用者に負担が伴うことを説明しなければいけない。負担に関する調査項目も必要である。

< 政策推進課担当課長 >

一般の方に多く利用してもらえることも大事である。コストは広報すべきと感じている。

< 堤委員 >

以前に比べバスの運行が増えているが、利用のないバスを走らせているとの批判が多くある。市民に理解してもらうことが大事である。

< 中澤委員 >

高齢化は今後更に進む。コストのことは調査項目に入れるべき。市街地から周辺地域のへの移動を促す観光戦略の検討を望む。

< 政策推進課担当課長 >

以前は地域の要望により路線設定、バス停設置、増便をしたが利用されない実態もある。廃止のルールも決めておく必要があるのではないかと考えている。

< 立花副委員長 >

今後アンケート調査の内容等について検討の余地はあるのか。

< 政策推進課担当課長 >

本日示したたたき台の大幅修正は実務上難しいが、意見を検討し整理したい。

〔政策推進室退室〕

12:00

### 3 その他

次回委員会

〔後日正副委員長で決定し各委員に連絡〕

散会 ~ 12:04